

岡山市の財政状況



2018年10月23日 合同IR 説明会資料



岡山市
OKAYAMA CITY



目 次

桃吉郎
のまち岡山

i 岡山市のすがた ……2

- 岡山市の概要
- 都市機能
- 岡山市の人口
- 将来推計人口

iii 財政状況 ……15

- 平成29年度普通会計決算
- 平成29年度決算の市債残高(全会計)
- 財政指標の推移
- 健全化判断比率等は基準をクリア

ii めざす都市像 ……10

- 岡山市の躍動に向けた長期構想
- 平成30年度一般会計当初予算
- 予算の内訳
- 平成30年度予算での主な事業

iv 市債発行の方針 ……21

- 市場公募地方債の発行

岡山市の概要①

桃太郎
のまち岡山

なりたち

古代 吉備国の繁栄

「岡山県は他県と違い、『しにせ』が古すぎるほど古い」
「大吉備津彦の伝説は『ギリシャ伝説中の英雄オデュッセウスに相当』」
(司馬遼太郎「桃太郎の末裔たちの国・岡山」)
「前方後円墳には吉備の特徴が非常に強く出ており・・・
初期倭王権は大和と吉備を主体とする連合と考えられる。」
(日本史の論点・中公新書2018)



全国第4位の規模を誇る
前方後円墳・造山古墳

◆日本遺産に認定◆

古代吉備の遺産群と「桃太郎伝説の生まれたまち おかやま」のストーリーが日本遺産の認定を受けました。(2018.4月)

近世 都市の骨格の形成

戦国期、宇喜多氏による岡山城築城・城下町の形成
江戸期、池田氏による新田開発、後楽園(名勝)の築庭

近現代 中四国圏域の発展を牽引

1889(明治22) 市制施行 人口5万人 面積6km²
2009(平成21) 政令指定都市へ移行 人口70万人 面積790km²
2016(平成28) 連携中枢都市宣言
8市5町の中心市として、都市圏の活性化を推進
圏域人口117万人 面積3,765 km²



桃太郎伝説の原形となった
吉備津彦命の鬼退治伝説に
因む吉備津神社

岡山市の概要②

桃太郎
のまち岡山

■ 晴れの国おかやま

温暖で、降水量1ミリ未満の日が日本一多い「晴れの国」です

降水量1mm未満の日の平年値（1981-2010）



気象庁 HP より

■ 少ない地震

市域内に活断層がなく、地震の少ない地域で、地震回数は全国平均の1/4以下です

過去50年間（1963-2012）の地震回数



気象庁 HP より

■ 良質で豊富、安定した水（「水の郷百選」認定地域）

市域を貫流する旭川・吉井川の二大河川や縦横に走る用水路が全国の都市で8番目に通水した上水道とあいまって、100年以上断水がありません



■ 果物王国・岡山

マスカット・白桃などの特産品が名高く、瀬戸内海は、サワラやママカリなどの海の幸が豊かです



岡山市の概要③

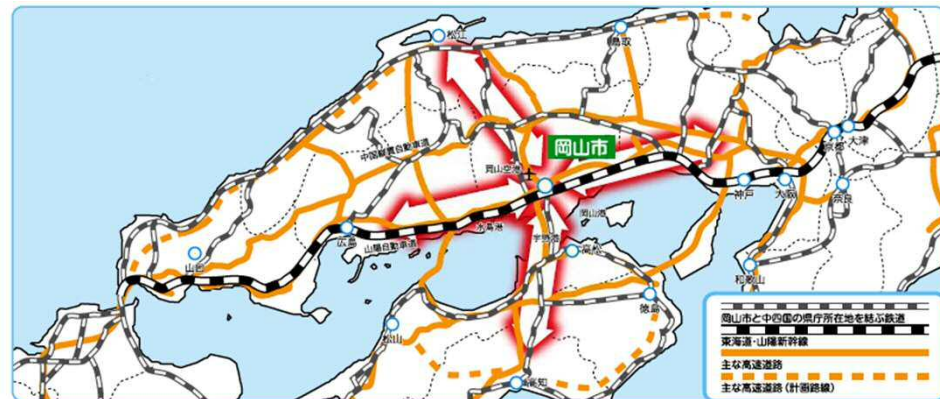
■ 地勢 — 中四国地方の交通の要衝 —

西日本の東西軸(近畿↔九州)と南北軸(日本海↔太平洋)の結節点に位置

鉄 道

JR岡山駅について

- ・すべての新幹線が停車
- ・主要都市からのアクセスが良い
【東京(3時間20分)、大阪(45分)】
- ・在来線が7路線乗り入れ、四国方面、山陰方面への玄関口



高速道路

- ・西日本を東西に貫く山陽自動車道
- ・日本海から太平洋に至る中国横断自動車道と瀬戸中央自動車道
- ・上記の高速道路が交差

空 港

岡山空港について

- ・国内3路線(東京、札幌、沖縄)
- ・国際4路線(ソウル、上海、台北、香港)
- ・市内中心部から空港までは車で25分
- ・約2,900台の無料駐車場



岡山駅前桃太郎像



都市機能①

桃吉郎
のまち岡山

都市の利便性と自然の豊かさを兼ね備えたまち

○医療・福祉

- 病院数(人口10万人あたり)
- 医師数(人口10万人あたり)
- 保育所数(人口10万人あたり)

第4位
第3位
第7位

○教育・文化

- 大学・短大学生数(人口10万人あたり)
- 文化施設数(人口10万人あたり)

第6位
第3位

○住環境

- 都市公園面積(人口1人あたり)
- 家賃(民営借家)の安さ
- 平均通勤時間の短さ
- 百貨店・総合スーパー数(人口10万人あたり)

第2位
第8位
第5位
第1位

※指定都市間比較(出典:経済産業省「商業動態統計調査(H27)」ほか)

○土地利用状況

- 田 19% 畑 5% 山林 45%



岡山市立市民病院



都市機能②

医療・福祉、学術・研究の分野で高い都市機能の集積

岡山藩医学館の系譜に連なる岡山大学病院をはじめ、高度な医療を提供する医療機関が集積しており、病院数、医師数などの医療基盤が充実しています。

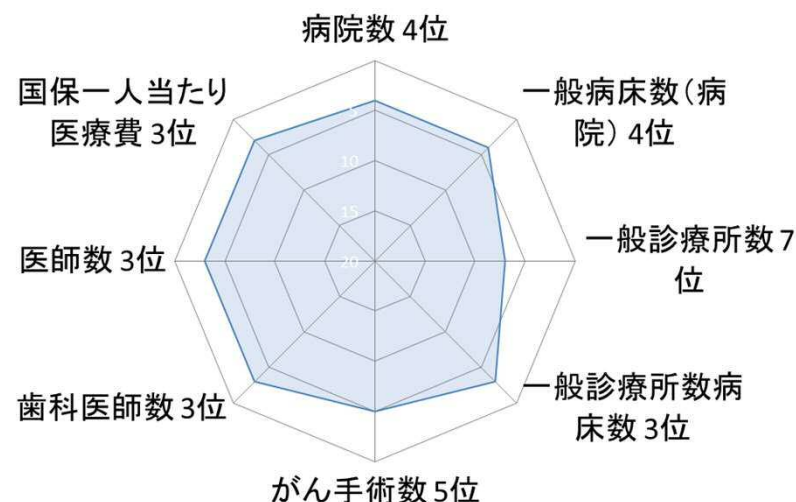
また、総合医療福祉施設・旭川荘や国際医療NGO・AMDAをはじめ、福祉・介護資源の蓄積があり、市民の安心な暮らしを支えています。

◆G20保健大臣会合の開催◆

岡山市の医療・保健分野における豊富な資源や先進的な取組(下記参照)が評価され、2019年10月の開催が決定

- ・医療・保健介護資源の蓄積
- ・スマートウェルネス総合特区(2014年～)の取組
- ・岡山型持続可能な社会経済モデル構築総合特区(2013年～)の実績

人口10万人当たり医療資源に関する本市の順位



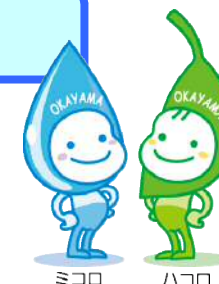
出典: 厚生労働省「医療施設調査(H28)」、「医師・歯科医師・薬剤師調査(H28)」、「病院報告(H28)」ほか

都市機能③

桃吉郎
のまち岡山

持続可能な社会の構築に向けた地域からの貢献

- 2002(平成14) 国連・持続可能な開発のための世界サミット(ヨハネスブルク)で市民・企業の環境保全活動等についてプレゼン
- 2004(平成16) 「リブコム(LivCom)2004(ナイアガラ・カナダ)」で、銀賞を受賞
ー 「模範的な環境管理」「住み良いコミュニティづくり」の成果を競うコンクール ー
- 2005(平成17) 国連大学により「ESDに関する地域拠点(RCE)」に認定(世界初)
- 2009(平成21) 国連ESDの10年・中間会合(ボン)で、ユネスコ世界会議の日本開催が決定
- 2010(平成22) 生物多様性条約第10回締約国会議 出展・参加
- 2011(平成23) 国連ESDの10年・最終年会合の開催地が岡山市と愛知県・名古屋市に決定
- 2013(平成25) 「ESDの10年・地球市民会議2013」「ESDテーマ会議2013」開催
- 2014(平成26) 「ESD推進のための公民館ーCLC国際会議」「第9回グローバルRCE会議」「ユネスコESD ユース・コンファレンス」「教師教育に関する国際会議」開催
97か国・地域から3,000人の参加者を得て、成果を発信



安倍内閣総理大臣から大森市長に「SDGs未来都市」認定証が授与されました

岡山コミットメント2014(要旨)

1. 公民館ーCLCにおけるESDの重要性とESDにおける公民館ーCLCの重要性に対する認識を広める。
2. コミュニティ間および問題解決の当事者同士が「実践の共同体」を創り出し、戦略的な連携を強く維持する。
3. 資料センターの創設やネットワークの構築を通じてESDの先進事例を発掘・共有する。
4. コミュニティで疎外されている人々に対して柔軟で生活に即した学びの機会を提供する。
5. 総合的で明確な政策が策定されるよう政策当局に働きかける。

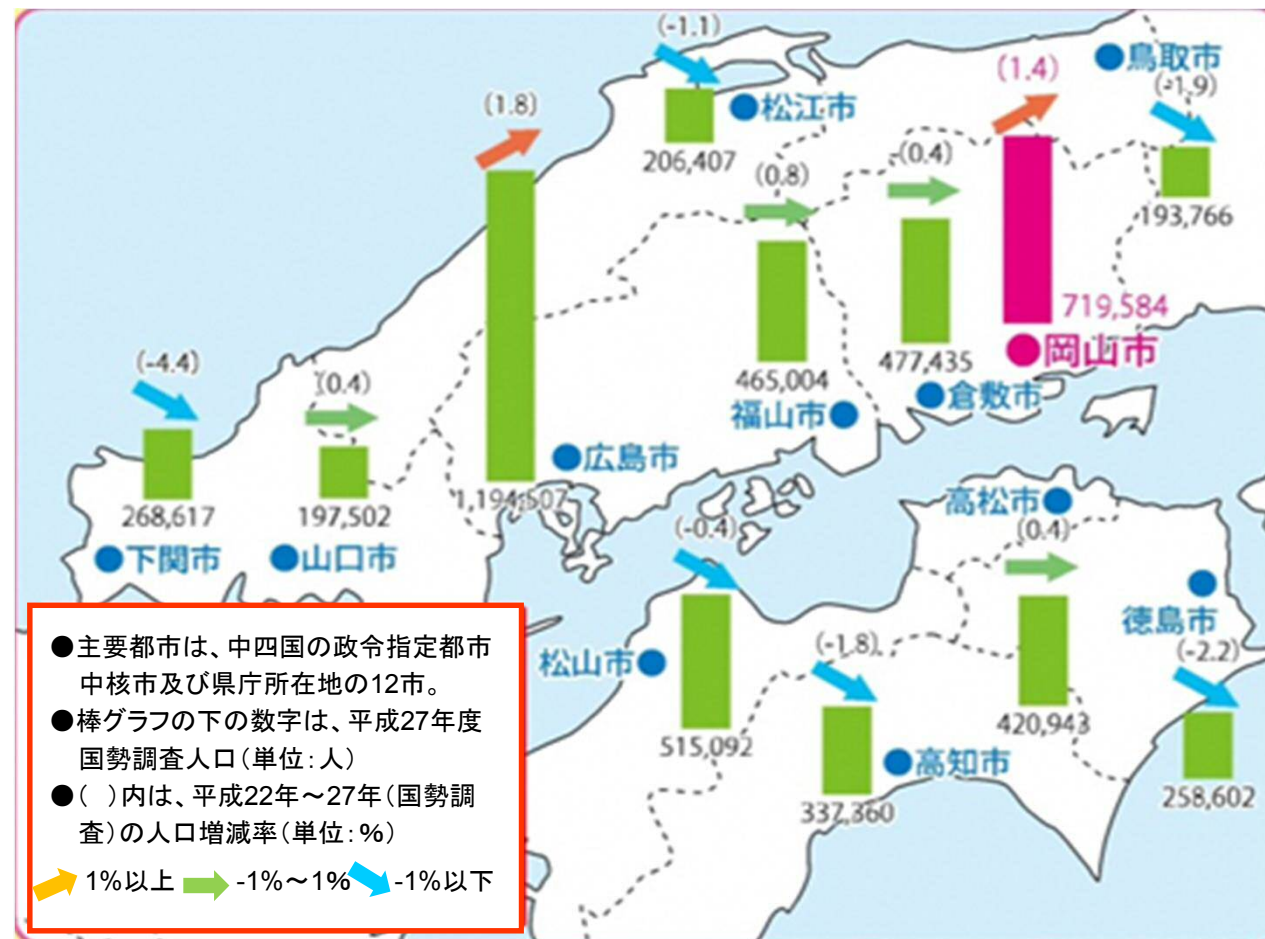
RCE岡山宣言(要旨)

1. RCEは、「国連持続可能な開発のための教育の10年」(2005年-2014年)以降もESD活動を推進していく。
2. RCEは、ユネスコのグローバル・アクション・プログラムにおける5つの優先事項(政策の推進、学習・研修環境の整備、教育者の能力向上、若者育成、地域活動のさらなる推進)の全てにおいて主導的役割を果たす。
3. 国連における「持続可能な開発目標」の実施に貢献する。
4. RCE活動の充実、質の向上に努める。

2018(平成30) 「SDGs未来都市」に選定

岡山市の人口

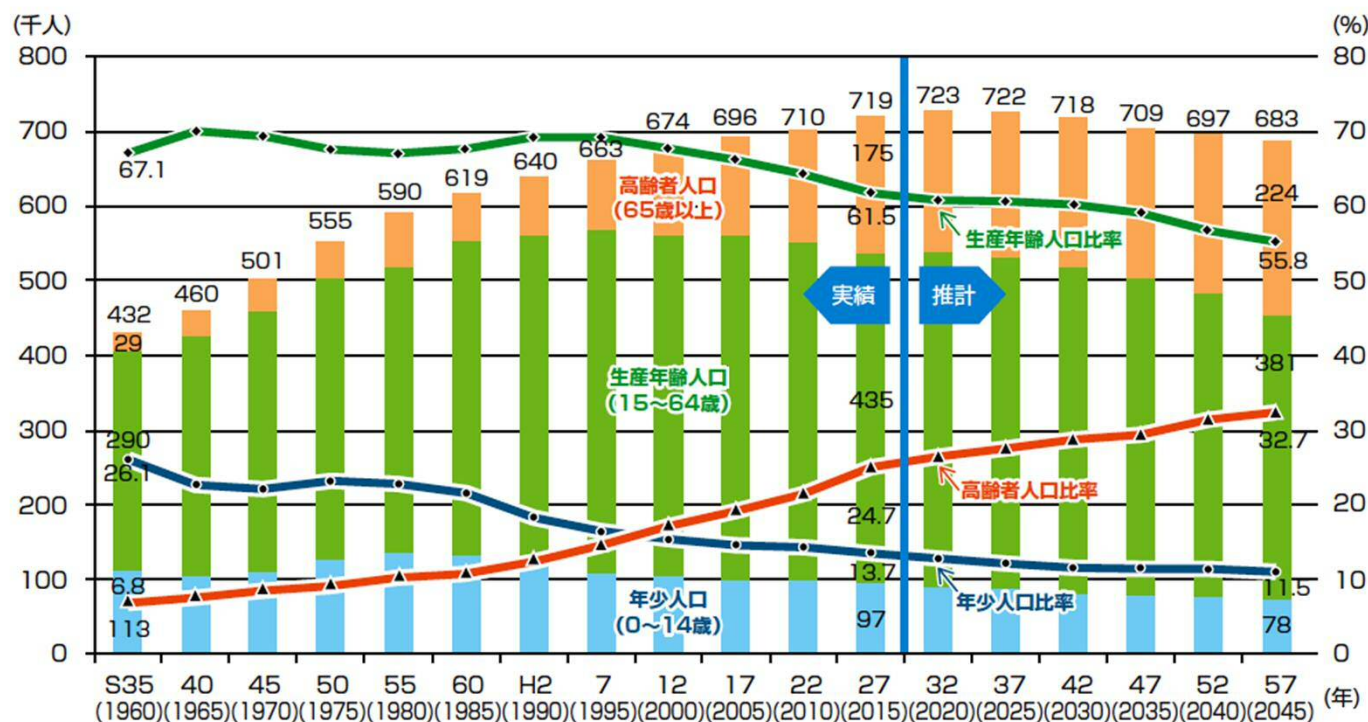
岡山市の人口は70万人を超え、さらに増加しています
～中四国主要都市の中で二番目に高い人口増加率～



将来推計人口

- 平成32年以降、人口減少期への突入が見込まれる
- 平成17年から平成27年までの10年間で2.3万人の増

岡山市の将来人口と人口構成比の見通し



(注) 人口等は現在市域。人口総数には年齢「不詳」を含む。ただし、人口比率は年齢「不詳」を除いて算出。
(資料) 総務省「国勢調査」(実績値)、岡山市推計結果(推計値)

岡山市の躍動に向けた長期構想

桃太郎
のまち岡山

第六次総合計画長期構想（平成28年3月策定）

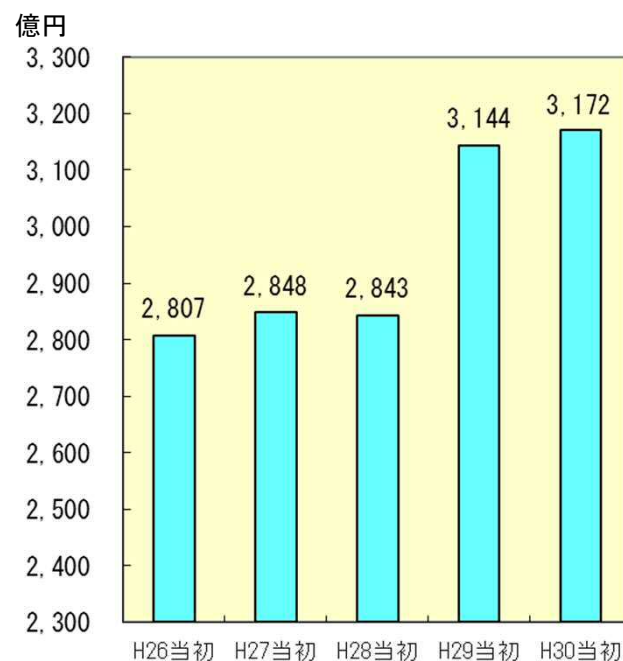


平成30年度一般会計当初予算

桃吉郎
のまち岡山

- 一般会計の当初予算額は3,172億円、対前年度比で0.9%の増
- 県費負担教職員の権限移譲に伴い、前年度に引き続いて過去最高に

当初予算規模の推移



予算編成の基本的な考え方

～ スタートダッシュ予算 ～

平成28年度に策定した第六次総合計画長期構想の目標実現に向け、これまでに種を蒔き、芽を出してきた取り組みの数々がしっかりと根付き、花開くよう、岡山市固有の強みや特性を最大限にいかしながら、

- まちづくり
- 産業・観光
- 子育て・教育
- 健康・福祉

などにおける現状の課題に全力で取り組むことで、住みやすさに一層の磨きをかけつつ、都市の魅力と活力を高め、愛着と誇りの持てるまちづくりにつながる施策に重点を置いて編成しています。

予算の内訳

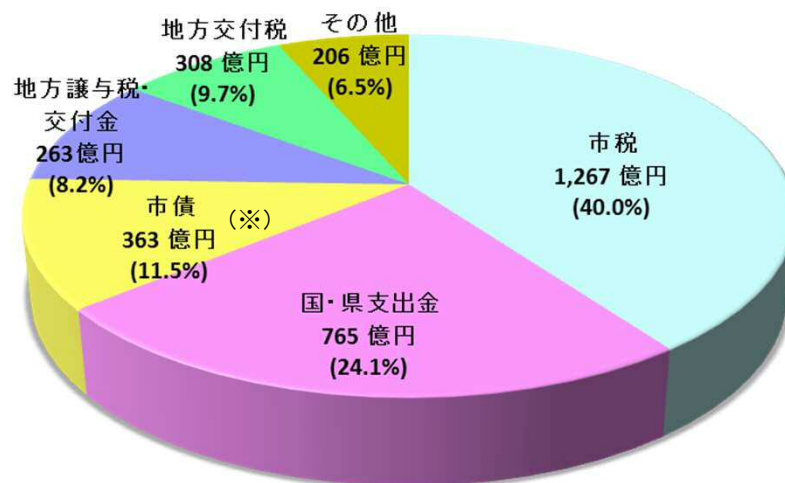
(歳入の主な増減要因)

- 市税は、県費負担教職員の権限移譲に伴う個人市民税の増などにより、対前年度比で22億円(1.1%)の増
- 地方譲与税・交付金は、県費負担教職員の権限移譲に伴う交付金の減などにより、対前年度比で102億円(27.9%)の減

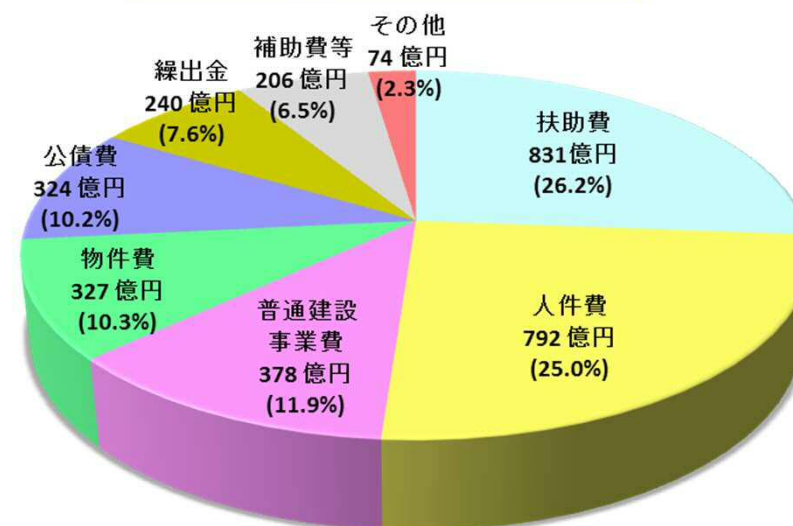
(歳出の主な増減要因)

- 扶助費は、子育て支援給付費、難病制度の権限移譲に伴う医療費の増などにより、対前年度比で24億円(3.0%)の増
- 繰出費は、医療費適正化による保険医療特別会計への繰出金の減などにより、対前年度比で24億円(9.2%)の減

歳 入



歳 出



※うち臨時財政対策債は216億円

平成30年度予算での主な事業

I 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」

(事業①) 公共交通の利便性向上

H30年度事業費：1億64百万円

- ・路面電車の駅前広場への乗り入れ
- ・駅前広場のデザイン検討
- ・路面電車のバリアフリー車両導入への補助金



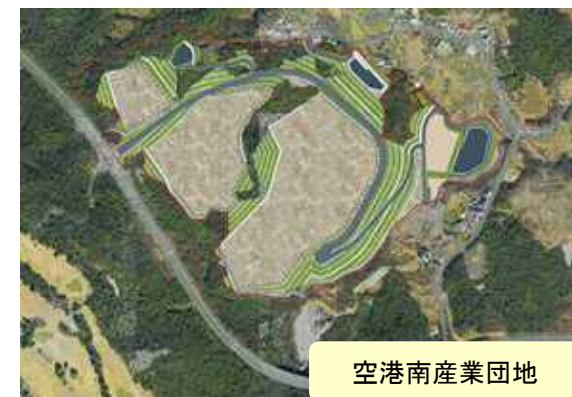
(事業②) 企業立地の推進

H30年度事業費：5億12百万円

■空港南産業団地整備事業（3億79百万円）

■企業立地推進事業（1億33百万円）

- ・企業立地への奨励金
- ・本社・中四国支店立地への補助金
- ・コールセンター等の立地への補助金
- ・再投資・拠点強化促進への奨励金



平成30年度予算での主な事業

Ⅱ 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」

(事業③) 保育園・こども園整備事業

H30年度事業費：21億28百万円

- ・ こども園整備 8施設
- ・ 私立保育所整備助成 1施設



Ⅲ 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」

(事業④) 地球温暖化対策推進事業

H30年度事業費：3億8百万円

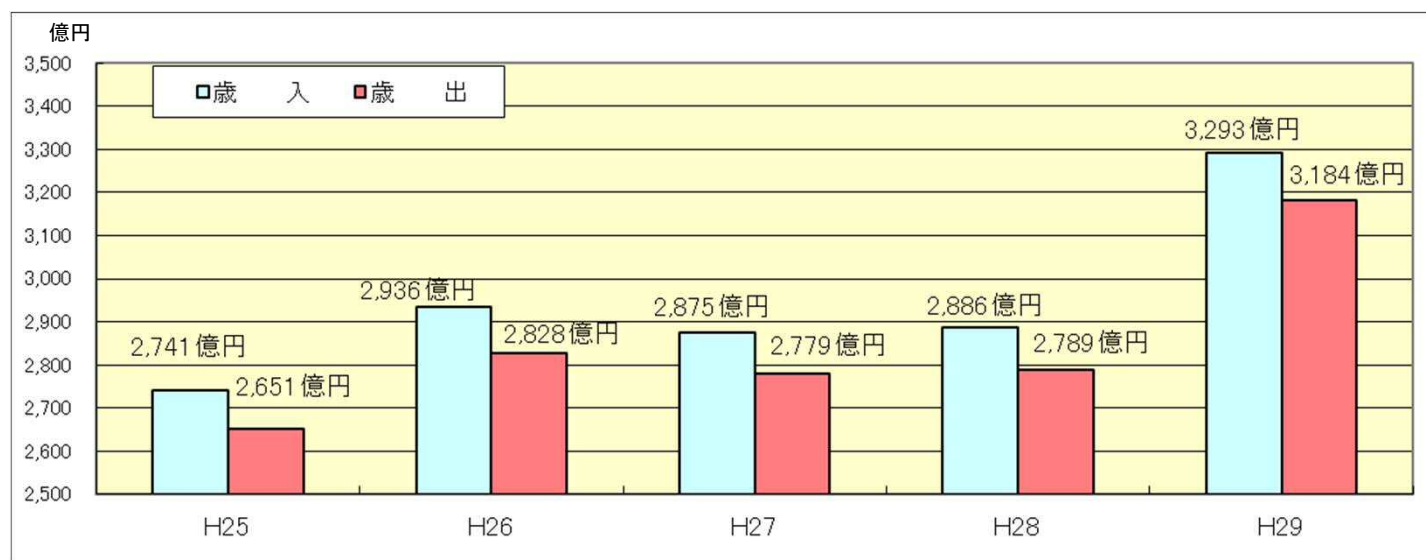
- ・ スマートエネルギー導入促進補助事業
- ・ 地球温暖化の防止の普及啓発
- ・ 燃料電池自動車の率先導入及び導入助成事業



平成29年度普通会計決算

■ 実質収支は安定的に推移

歳入歳出決算の推移



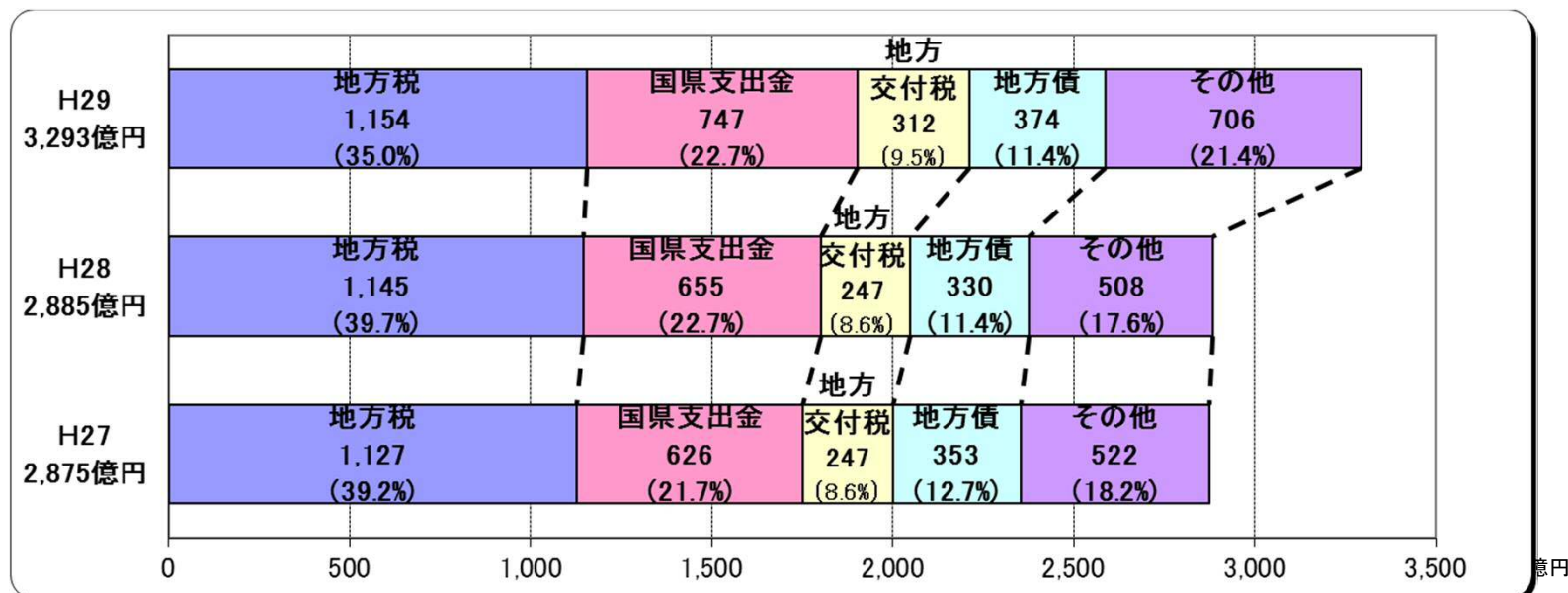
(単位: 百万円)

	H25	H26	H27	H28	H29
歳入	274,091	293,586	287,505	288,551	329,342
歳出	265,070	282,819	277,861	278,931	318,358
形式的収支	9,021	10,767	9,644	9,620	10,984
実質収支	7,210	9,002	7,159	7,537	7,652

平成29年度普通会計決算(歳入)

■ 地方税収入は1,154億円となり、自主財源比率は45.1%

歳入内訳の推移



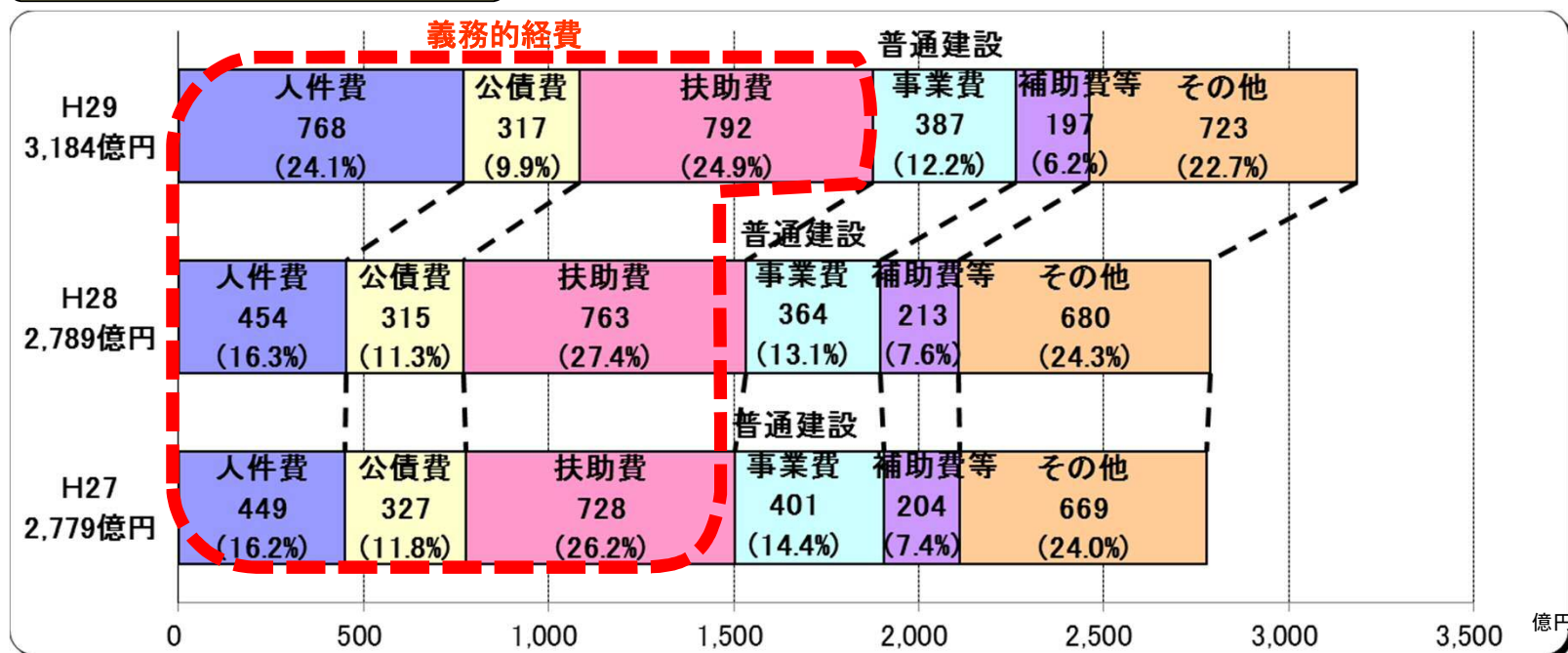
- 地方税は、市民税や固定資産税などの増により、対前年度比で0.8%の増
- 税の徴収率は、8年連続で向上し96.7%
- 国庫支出金は、県費負担教職員の権限移譲に伴う国庫負担金などの増により、対前年度比で15.2%の増
- 地方債は、臨時財政対策債の発行などの増により、対前年度比で13.4%の増
- その他は、県費負担教職員の権限移譲に伴う交付金などの増により、対前年度比で39.0%の増

平成29年度普通会計決算(歳出)

桃吉郎
のまち岡山

■ 人件費、扶助費、公債費の義務的経費が全体の58.9%を占める

歳出性質別内訳の推移



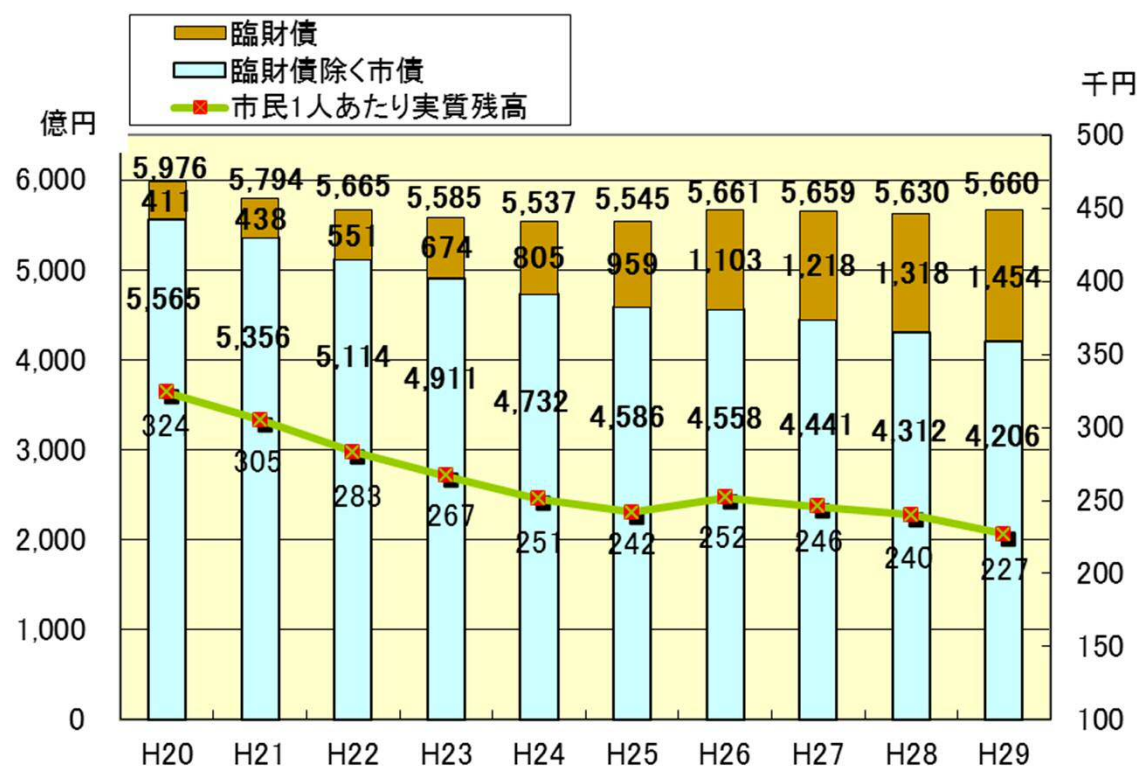
- 人件費は、県費負担教職員の権限移譲に伴う職員給などの増により、対前年度比で69.3%の増
- 扶助費は、施設型給付費や地域型保育給付費など社会保障関係経費の増により、対前年度比で3.7%の増
- 公債費は、臨時財政対策債の元利償還額の増により、対前年度比で0.6%の増
- 普通建設事業費は、学校耐震改修事業費や認定こども園整備事業費等の増により、対前年度比で6.3%の増

平成29年度決算の市債残高(全会計)

桃吉郎
のまち岡山

■ 市全体の市債残高は平成25年度より増加傾向

市債残高の推移



●借入額の抑制
全額が交付税算入される市債を除き200億円を目途に借入額の抑制を図りつつも、臨時財政対策債の増加に伴い市債残高は増加傾向

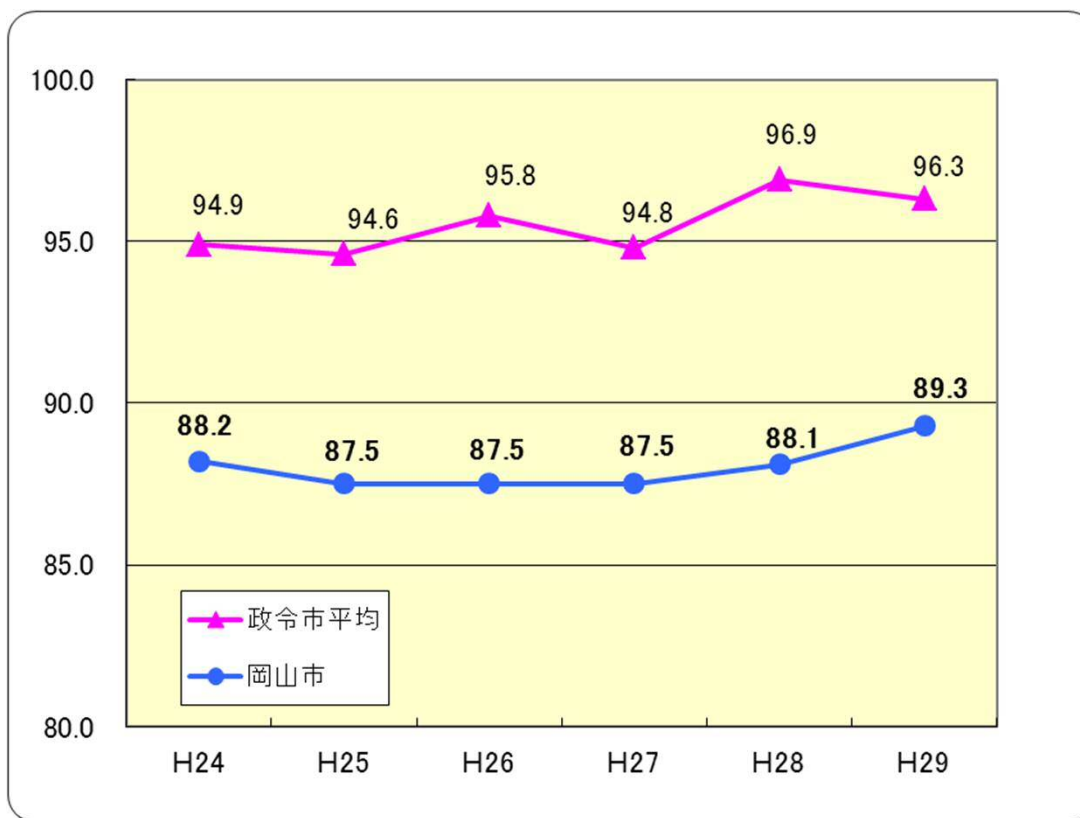
●ピークは平成18年度末(6,327億円)

●市民1人あたりの実質的な市債残高は着実に減少

財政指標の推移

■ 経常収支比率はH17から4.8ポイント改善し89.3%、政令市トップ

経常収支比率の推移



【経常収支比率は微増】

・平成29年度は89.3% (平成28年度88.1%)となり、微増

(参考)平成17年度は94.1%

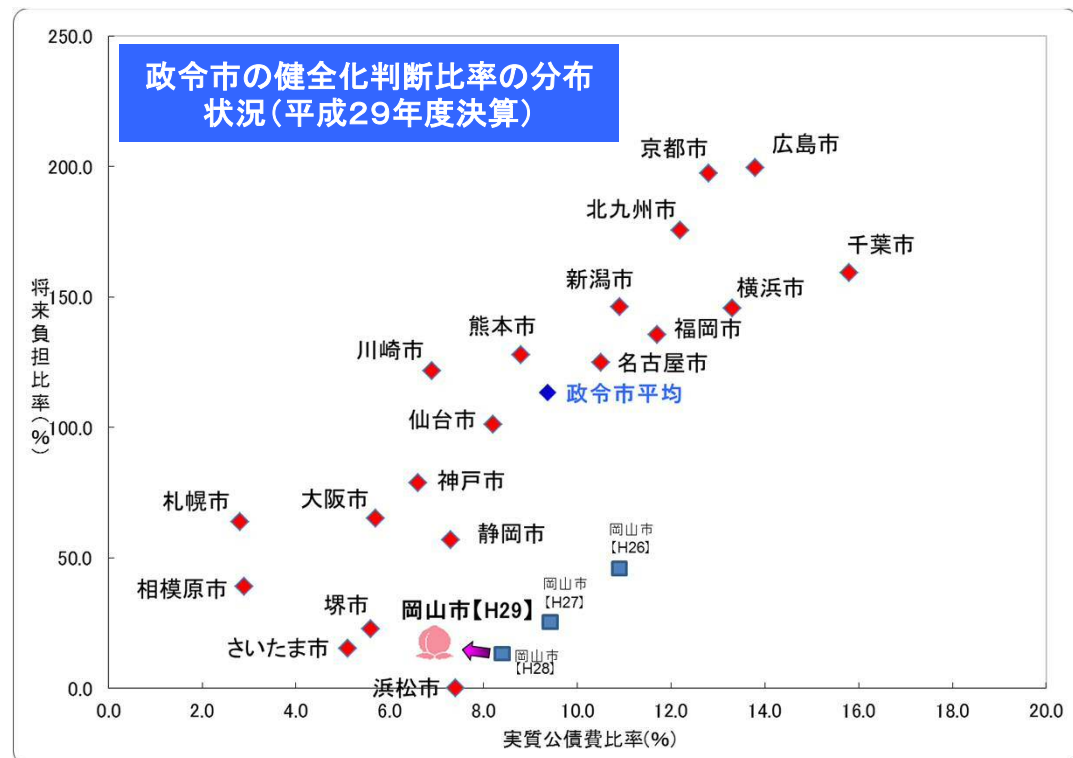
・平成29年度決算数値においても現時点での速報値で政令指定都市1位

健全化判断比率等は基準をクリア

- 前年度に引き続き、実質赤字額、連結実質赤字額はなし
- 実質公債費比率は、市債の発行抑制などにより対前年度比1.1ポイント低下
- 将来負担比率は、将来負担額の増などにより対前年度比4.8ポイント増加

指 標	岡山市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率			
実質赤字比	—	11.25%	20%
連結実質赤字比率	—	16.25%	30%
実質公債費比率	7.0%	25%	35%
将来負担率	18.3%	400%	
資金不足比率 (公営企業ごと)	—	(経営健全化基準) 20%	

※実質赤字額、連結実質赤字額がない場合は、「—」を記載しています



平成29年9月28日総務省発表「平成28年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率の概要(速報)」より

市場公募地方債の発行

- 平成21年度の政令市移行以来、全国型市場公募地方債を安定的かつ継続的に発行してきており、今年度も継続発行予定

全国型市場公募地方債発行実績

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
発行額	100億円	100億円	100億円	100億円	100億円	100億円	100億円
償還年限	10年	10年	10年	10年	10年	10年	10年
発行日	H24.1.31	H25.1.31	H26.1.31	H27.1.30	H28.1.29	H29.1.31	H30.1.31

平成30年度発行予定

◇発行額：100億円(10年)

◇条件決定日：平成31年1月予定

◇発行日：平成31年1月下旬予定

減債基金の着実な積立

- ◇減債基金への積立不足額はゼロ
- ◇総務省ルール(発行額の1/30)を上回る積立ルール(発行額の1/20)

- メモ等にご利用ください。

お問い合わせ

桃太郎
のまち岡山



うらじゃ踊り



岡山市 財政局 財務部 財政課

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号

Tel 086-803-1146

Fax 086-803-1735

E-mail zaiseika@city.okayama.lg.jp

URL <http://www.city.okayama.jp/zaisei/zaisei/index.html>

